

もどぐされびょう サツマイモ基腐病

発生に注意!

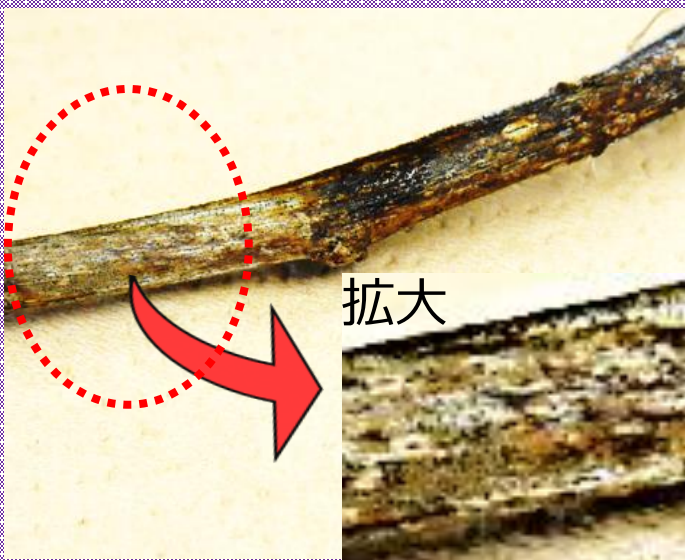
2025年12月 福島県病害虫防除所



家庭菜園や市民農園等
でもご注意ください



サツマイモ基腐病は、2018年に初めて沖縄県で初確認され、**本県**においても、2024年10月に南会津地方、2025年10月に中通り地方で発生が確認されています。



株元の茎が黒変
黒粒が発生



なり首側からの腐敗
(腐敗したサツマイモの切断面)

**発生すると、サツマイモが収穫出来なくなる
可能性があります。**
土壌伝染のため、来年も発生します。

上記のような症状を確認した場合は、福島県病害虫防除所（裏面の連絡先）まで
ご相談ください。

サツマイモ基腐病とは？

○病原菌

・糸状菌(カビの一種)

○宿主植物

・ヒルガオ科植物（主にさつまいも）

○病徴及び被害

- ・地上部は、株元が黒変し、萎れや枯死が生じる。
- ・黒変や黒粒が発生し、そこからいも（塊根）が暗褐色に変色する。
- ・主に、なり首側からいもが腐敗して硬化する。

防除対策

○畑に持ち込まない

- ・苗はよく観察し、生育不良や葉色の変色、腐敗があれば使用を控えましょう。
- ・種苗販売店に、購入する苗が消毒済みであるかどうか確認しましょう。
- ・未消毒の苗は、植え付け前に登録農薬で消毒しましょう。

苗床での 症状



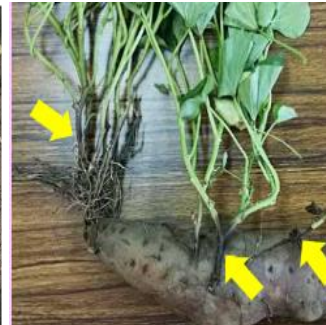
- ・葉巻
- ・株の萎縮



- ・葉が赤変、黄変



- ・株元の茎が
黒変



- ・いもの腐敗
- ・苗基部の黒変

【本ページの写真出典】

生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業（01020C）及び戦略的スマート農業技術等の開発・改良（SA2-102N）令和4年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」

○増やさない

- ・本病原菌は、残さと共に土の中で長期間生き残るため、**発病が見られた畑では、2年以上はさつまいもの栽培を避けてください。**

本病の発生が疑われる場合は、下記の連絡先（福島県病害虫防除所）または最寄りの農林事務所までご連絡ください。

TEL: 024-958-1709 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp

FAX: 024-958-1727